

設置の趣旨等を記載した書類 資料の目次

資料 1	経済産業省委託調査「IT人材需給に関する調査」 (2019年3月 みずほ情報総研株式会社)	P4
資料 2	「DX白書 2023」DXを推進する人材の「量」「質」 (2023年3月 独立行政法人情報処理推進機構)	P4
資料 3	令和5年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の 確保に向けた機能強化に係る支援）の選定結果について（通 知）	P4・7
資料 4	サイバーセキュリティに関連する海外の動き (2021年3月 経済産業省 商務情報政策局)	P6
資料 5	育成する人材目標と3つのポリシーの相関図	P11
資料 6	カリキュラムマップ	P11・16
資料 7	時間割および科目体系	P14・16
資料 8	研究指導概要	P18
資料 9	履修モデル	P18
資料 10	基礎学部と大学院研究科との関係図	P19
資料 11	アドミッションポリシーと入学者選抜方法の対応関係	P25
資料 12	学校法人順天堂就業規則及び特任教員規程	P27
資料 13-1	順天堂大学 キャンパス及び医学部附属病院配置図（都道府県 内における位置関係の図面）	P28
資料 13-2	最寄駅からキャンパスへの距離、交通機関及び所要時間がわか る図面	P28
資料 14	センチュリータワー図面 (健康データサイエンス研究科：講義室、学生研究室、自習 室)	P29
資料 15	順天堂大学大学協議会規則	P31
資料 16	大学院健康データサイエンス研究科管理運営体制図	P31

【資料 1、2、3、4】

- 1 IT人材需給に関する調査（【資料 1】4 ページ）
- 2 （出典） 経済産業省委託調査「平成 30 年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（IT 人材等育成支援のための調査分析事業）IT 人材需給に関する調査 調査報告書」（2019 年 3 月 みずほ情報総研株式会社）
- 3 （引用範囲） 経済産業省委託調査「平成 30 年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（IT 人材等育成支援のための調査分析事業）IT 人材需給に関する調査 調査報告書」（2019 年 3 月 みずほ情報総研株式会社）（38 ページ） [houkokusyo.pdf](#)

- 1 DX を推進する人材の「量」「質」（【資料 2】4 ページ）
- 2 （出典）「DX 白書 2023」DX を推進する人材の「量」「質」（2023 年 3 月 独立行政法人情報処理推進機構）
- 3 （引用範囲） 「DX 白書 2023」（2023 年 3 月 独立行政法人情報処理推進機構）（20 ページから 22 ページ） [DX 白書 2023 \(ipa.go.jp\)](#)

- 1 我が国における IT 人材の動向（【資料 3】4 ページ、7 ページ）
- 2 （出典） 経済産業省委託調査「我が国における IT 人材の動向」（2021 年 2 月 みずほ情報総研株式会社）
- 3 （引用範囲） 経済産業省委託調査「我が国における IT 人材の動向」（2021 年 2 月 みずほ情報総研株式会社）（3 ページ）
[001_s01_00.pdf \(meti.go.jp\)](#)

- 1 サイバーセキュリティに関連する海外の動き (【資料4】6 ページ)
- 2 (出典) サイバーセキュリティに関連する海外の動き (2021年3月 経済産業省 商務情報政策局)
- 3 (引用範囲) サイバーセキュリティに関連する海外の動き(2021年3月経済産業省 商務情報政策局) (25 ページ、28～30 ページ)
[008_04_00.pdf \(meti.go.jp\)](#)

育成する人材目標と3つのポリシーの相関図(順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科(博士前期課程(M)))

- AP1**
出身学部・専攻は問わないが、医学・医療、工学や理学などの自然科学に関する基礎知識と基礎的な研究能力を有する人
- AP2**
健康データサイエンスの探究を通して、人々の健康に貢献することを求めている人
- AP3**
国際的な視野で知識を獲得し、意欲を持って研究課題に取り組むことができる人
- AP4**
高い理想を実現するために新たな研究に挑戦する意欲を持っている人



科目区分	基礎科目	CP	専門科目						研究指導科目	CP			
			専門基礎科目	CP	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目(統計学系)	CP	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目(コンピュータサイエンス系)	CP			ヘルスデータサイエンス研究領域科目	CP	
1年次	統計学基礎	CP1	統計学特論	CP1	ポピュレーションヘルスサイエンス	CP2 CP4	計算科学特論	CP2	臨床倫理データサイエンス特論	CP3 CP4	健康データサイエンス特別研究1	CP1	
	人工知能概論	CP1	生物統計学特論	CP1	多変量統計解析特論	CP2	応用数理特論	CP2	医療経済・医療政策データサイエンス特論	CP3 CP4		CP2	
	バイオメカニクス概論	CP1 CP4	人工知能特論	CP1	遺伝子と多様性のデータサイエンス特論	CP2 CP4			データサイエンティストのための健康・医学特論	CP3 CP4		CP3	
	データサイエンティストのための健康・医学概論	CP1 CP4	ネットワークセキュリティ特論	CP1					バイオメカニクス特論	CP3 CP4			CP4
	学術英語方法論	CP1	医療情報特論	CP1 CP4					画像解析・画像AI特論	CP3 CP4			CP5
	セキュリティガバナンス概論	CP1	医療DX・AI特論	CP1 CP4									
	研究倫理(技術倫理を含む)	CP1											
2年次					疫学特論	CP2 CP4	情報可視化特論	CP2	臨床医療判断特論	CP3 CP4	健康データサイエンス特別研究2	CP1	
							分散大規模データ処理特論	CP2	医療DX・AI演習	CP3 CP4		CP2	
							IoTセキュリティ対策特論	CP2				CP3	
							高性能データ処理特論	CP2				CP4	
							サイバーセキュリティ特論	CP2					CP5

- DP1**
データサイエンスの基礎となる統計学及びコンピュータサイエンスの深くかつ広範な専門知識と実践力を備えた人材を育成する。
- DP2**
医学や医療に関する知識を有し、AI技術やデータ分析に専門的で高度な実践力を備えたデータサイエンティストを育成する。
- DP3**
サイバーセキュリティに関する専門的知識を持ち汎用的に活用することができる人材を育成する。
- DP4**
先端的データサイエンスの教育研究を実現する新たな教育理論の開発や実践展開ができる教育者・研究者を志向する人材を育成する。



と全博協に土議お前期ける課そ健程の康へM決医しに療で向・はけサ、てイ高貢!倫理すキ親高ユを度り有情テ、報を合、デ職むサイエンスを課題成主する体的高に度発見理論と国技や術地に域、基づ産いて、垣根際を社越会えて地域者社

育成する人材

CP1	医学・医療・スポーツ等に関するデータを科学する健康データサイエンスの学修及び研究に必要な基礎力を獲得するとともに、それらを持つ社会的意義と役割を理解し、高い倫理観に基づいた総合的・創造的な実践力と研究力を段階的に高めていけるように、「基礎科目」及び「専門科目専門基礎科目」の概論科目を配置する。
CP2	データサイエンティストが具備すべき高度な専門的知識と技術を身につけられるように、「データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目」に統計学、人口知能、コンピュータサイエンスや情報セキュリティに関する特論科目を配置する。
CP3	健康や医療に関わるデータサイエンティストが具備すべき高度な専門的知識と技術を身につけられるように、「ヘルスデータサイエンス研究領域科目」にバイオメカニクス、画像解析や医療DX・医療AIに関する特論科目を配置する。
CP4	健康や医療に関する知識を身につけ、健康や医療領域におけるデータサイエンスの必要性や発展について着実に理解・修得できるように、健康や医療領域に関する多様なデータを収集・加工・分析・解析する専門知識と技術を修得する科目を「基礎科目」から「専門科目」へ段階的に教育課程に編成する。
CP5	実践力の向上を目指し、学生がグループワークや他機関の研究者等との議論・協働等の中でリーダーシップやチームワークを発揮し、主体的に問題発見から問題解決に取り組む能力を身につけることができるように、1年次及び2年次に「研究指導科目」を教育課程に編成する。また質保証の観点を含め適切な学位審査(論文審査)を実施するため、研究方法を確立する。

育成する人材目標と3つのポリシーの相関図(順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科(博士後期課程(D)))

- AP1**
出身研究科・専攻は問わないが、データサイエンスに関する専門的知識と研究を遂行できる学力を有している人
- AP2**
自ら主体的に問題を発見し、課題を解決する能力を持っている人
- AP3**
研究を進めるにあたり必要とされる外国語の能力を持っている人



科目区分	基盤科目	CP	専門科目				研究指導科目	CP		
			統計学系	CP	コンピュータサイエンス系	CP			健康データサイエンス系	CP
1年次	統計学特講	CP1	データアナリティクス特講1	CP2	コンピュータサイエンス特講1	CP2	ヘルスデータサイエンス特講1	CP2	健康データサイエンス特別研究1	CP2
	人工知能特講	CP1	データアナリティクス特講2	CP2	コンピュータサイエンス特講2	CP2	ヘルスデータサイエンス特講2	CP2		CP3
	健康医療情報学特講	CP1								CP4
2年次			データアナリティクス特別演習1	CP2	コンピュータサイエンス特別演習1	CP2	ヘルスデータサイエンス特別演習1	CP2	健康データサイエンス特別研究2	CP2 CP3
			データアナリティクス特別演習2	CP2	コンピュータサイエンス特別演習2	CP2	ヘルスデータサイエンス特別演習2	CP2		CP4
3年次									健康データサイエンス特別研究3	CP2 CP3 CP4

CP1	医学・医療・スポーツ等に関するデータを科学する健康データサイエンスの学修及び研究の開始に必要な知識と技術を獲得し、高い倫理観に基づいた総合的・創造的な実践力と研究力を段階的に高めていくため、教育課程に「基盤科目」を配置する。
CP2	データサイエンティストが具備すべき高度な専門的知識と技術を身につけられるよう「データアナリティクス」「コンピュータサイエンス(サイバーセキュリティを含む)」「ヘルスデータサイエンス」に関する特講科目を配置する。
CP3	実践力の向上を目指し、研究科生が国内外の他研究者や連携機関等とのプロジェクト等においてリーダーシップやチームワークを発揮し、主体的に問題発見から問題解決に取り組む能力を身につけることができるように、各年次に「研究指導科目」を教育課程に編成する。また質保証の観点を含め適切な学位審査(論文審査)を実施するため、研究方法を確立する。
CP4	研究科生が専門力及び研究力に自信を持ち、教育者・研究者として具体的な社会貢献への展望を描き、生涯にわたって研究し続ける姿勢を持てるよう各学年に「研究指導科目」を配置する。研究指導科目「健康データサイエンス特別研究1~3」では、博士論文審査までに、学術論文を査読付きのジャーナルまたは国際会議に投稿し、受理(アクセプト)されること目指し、国内外問わず研究者として活躍するための知識と技術を確立する。

- DP1**
データサイエンスの基盤となる統計学及びコンピュータサイエンスの深くかつ広範な専門知識と実践力に加え、国際レベルの発信力を備えた人材を育成する。
- DP2**
医学・医療に関する知識を有し、AI技術やデータ分析に専門的で高度な研究力と実践力を持ち、21世紀の高度情報化社会の進展に寄与できるデータサイエンティストを育成する。
- DP3**
サイバーセキュリティの深くかつ広範な専門知識に基づいた実践応用力を備えることに加え、先進的な研究や技術開発により、新たな価値を生み出すことができる人材を育成する。
- DP4**
新たな知見の創造を目的に、自立して先端的データサイエンス教育研究をより深く探究し、国際社会や地域社会へ貢献するとともに学術的進展に寄与する人材を育成する。



学よ博士的深遠な探究に究極まで到達し、Dを創る道は、この国が活用できる実践力と研究力と実践力を持ち、21世紀の高度情報化社会の進展に寄与できるデータサイエンティストを育成する。新たな社会へ貢献する高い意識に基づき、国際社会を牽引し、

育成する人材

カリキュラム・マップ

健康データサイエンス研究科健康データサイエンス専攻（博士前期課程）

【資料6-1】

科目区分	授業科目の名称	必修区分	開講年次	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	
				データサイエンスの基盤となる統計学及びコンピュータサイエンスの深くかつ広範な専門知識と実践力を備えた人材を育成する。	医学や医療に関する知識を有し、AI技術やデータ分析に専門的で高度な実践力を備えたデータサイエンティストを育成する。	サイバーセキュリティに関する専門的知識を持ち汎用的に活用することができる人材を育成する。	先端的データサイエンスの教育研究を実現する新たな教育理論の開発や実践展開ができる教育者・研究者を志向する人材を育成する	
基盤科目	統計学基礎	選択	1	○	○			
	人工知能概論	選択	1	○	○	○		
	バイオメカニクス概論	選択	1		○			
	データサイエンティストのための健康・医学概論	選択	1		○			
	学術英語方法論	必修	1	○	○	○	○	
	セキュリティガバナンス概論	必修	1	○	○	○	○	
	研究倫理（技術倫理を含む）	必修	1	○	○	○	○	
専門科目	専門基礎科目	統計学特論	選択	1	○			
		生物統計学特論	選択	1	○	○	○	
		人工知能特論	選択	1	○		○	
		ネットワークセキュリティ特論	選択	1	○		○	
		医療情報特論	選択	1		○		
		医療DX・AI特論	選択	1		○	○	
	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目	ポピュレーションヘルスサイエンス	選択	1	○	○		○
		多変量統計解析特論	選択	1	○			○
		遺伝子と多様性のデータサイエンス特論	選択	1	○	○		○
		疫学特論	選択	2	○	○		○
		応用数理特論	選択	1	○			○
		計算科学特論	選択	1	○			○
		情報可視化特論	選択	2	○			○
		分散大規模データ処理特論	選択	2	○		○	○
		高性能データ処理特論	選択	2	○		○	○
		IoTセキュリティ対策特論	選択	2			○	○
	サイバーセキュリティ特論	選択	2			○	○	
	ヘルスデータサイエンス研究領域科目	データサイエンティストのための健康・医学特論	選択	1		○		○
		バイオメカニクス特論	選択	1		○		○
		臨床倫理データサイエンス特論	選択	1		○		○
		臨床医療判断特論	選択	2		○		○
医療経済・医療政策データサイエンス特論		選択	1		○		○	
画像解析・画像AI特論		選択	1		○		○	
医療DX・AI演習		選択	2		○		○	
科指研目導究	健康データサイエンス特別研究1	必修	1	○	○	○	○	
	健康データサイエンス特別研究2	必修	2	○	○	○	○	

カリキュラム・マップ

健康データサイエンス研究科健康データサイエンス専攻（博士後期課程）

【資料6-2】

科目区分	授業科目の名称	必修区分	開講年次	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4
				データサイエンスの基盤となる統計学及びコンピュータサイエンスの深くかつ広範な専門知識と実践力に加え、国際レベルの発信力を備えた人材を育成する。	医学・医療に関する知識を有し、AI技術やデータ分析に専門的で高度な研究力と実践力を持ち、21世紀の高度情報化社会の進展に寄与できるデータサイエンティストを育成する。	サイバーセキュリティの深くかつ広範な専門知識に基づいた実践応用力を備えることに加え、先進的な研究や技術開発により、新たな価値を生み出すことができる人材を育成する。	新たな知見の創造を目的に、自立して先端的データサイエンス教育研究をより深く探究し、国際社会や地域社会へ貢献するとともに学術的進展に寄与する人材を育成する。
基盤科目	統計学特講	選択	1	○			
	人工知能特講	選択	1	○		○	
	健康医療情報学特講	選択	1		○		
専門科目	データアナリティクス特講1	選択	1	○			○
	データアナリティクス特講2	選択	1	○			○
	データアナリティクス特別演習1	選択	2	○			○
	データアナリティクス特別演習2	選択	2	○			○
	コンピュータサイエンス特講1	選択	1	○		○	○
	コンピュータサイエンス特講2	選択	1	○		○	○
	コンピュータサイエンス特別演習1	選択	2	○		○	○
	コンピュータサイエンス特別演習2	選択	2	○		○	○
	ヘルスデータサイエンス特講1	選択	1		○		○
	ヘルスデータサイエンス特講2	選択	1		○		○
	ヘルスデータサイエンス特別演習1	選択	2		○		○
	ヘルスデータサイエンス特別演習2	選択	2		○		○
研究目指導	健康データサイエンス特別研究1	必修	1	○	○	○	○
	健康データサイエンス特別研究2	必修	2	○	○	○	○
	健康データサイエンス特別研究3	必修	3	○	○	○	○

健康データサイエンス研究科健康データサイエンス専攻（博士前期課程） 時間割及び科目体系

◆主要授業科目、◇必修科目

■1年次

開講期	時限	曜日	授業科目名	授業担当	教室	科目区分	CP				
							CP1	CP2	CP3	CP4	
前期	5	月	統計学基礎	大森 崇	301教室	基盤科目	○				
			バイオメカニクス概論	小田 俊明	302教室	基盤科目	○			○	
		火	人工知能概論	徳田 慶太	MM教室	基盤科目	○				
			データサイエンティストのための健康・医学概論	青木茂樹、他	301教室	基盤科目	○			○	
		水	セキュリティガバナンス概論 ◇	島井 健一郎	301教室	基盤科目	○				
		木	研究倫理（技術倫理を含む） ◇	青木茂樹、他	301教室	基盤科目	○				
	金	学術英語方法論 ◇	山本 史郎	301教室	基盤科目	○					
	6	月	統計学特論	岩崎 学、他	301教室	専門基礎科目	○				
		火	人工知能特論	中田秀基	MM教室	専門基礎科目	○				
			医療情報特論	井出 博生	301教室	専門基礎科目	○			○	
		水	ポピュレーションヘルスサイエンス ◆	林 邦彦	301教室	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目		○		○	
			計算科学特論 ◆	佐藤三久、他	MM教室	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目		○			
		木	臨床倫理データサイエンス特論 ◆	山本 憲	301教室	ヘルスデータサイエンス研究領域科目			○	○	
		金	医療経済・医療政策データサイエンス特論 ◆	隈丸 加奈子	301教室	ヘルスデータサイエンス研究領域科目			○	○	
応用数理特論 ◆			水野信也	302教室	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目		○				
通年	1～2	土	健康データサイエンス特別研究1 ◇◆	指導教員	ラーニングcommons、他	研究指導科目	○	○	○	○	
後期	5	月	生物統計学特論 ◆	坂巻頭太郎	301教室	専門基礎科目	○				
		火	多変量統計解析特論 ◆	小泉和之	301教室	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目		○			
		水	遺伝子と多様性のデータサイエンス特論 ◆	岸野 洋久	301教室	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目		○		○	
		金	医療DX・AI特論 ◆	青木茂樹、他	302教室	専門基礎科目	○			○	
	6	月	データサイエンティストのための健康・医学特論 ◆	青木茂樹、他	301教室	ヘルスデータサイエンス研究領域科目			○	○	
		火	バイオメカニクス特論 ◆	小田 俊明、他	301教室	ヘルスデータサイエンス研究領域科目			○	○	
		水	画像解析・画像AI特論 ◆	青木茂樹、他	301教室	ヘルスデータサイエンス研究領域科目			○	○	
	金	ネットワークセキュリティ特論 ◆	加藤雅彦	MM教室	専門基礎科目	○					
	通年	1～2	土	健康データサイエンス特別研究1 ◇◆	指導教員	ラーニングcommons、他	研究指導科目	○	○	○	○

■2年次

開講期	時限	曜日	授業科目名	授業担当	教室	科目区分	CP			
							CP1	CP2	CP3	CP4
前期	5	火	臨床医療判断特論 ◆	山本 憲	302教室	ヘルスデータサイエンス研究領域科目			○	○
		水	IoTセキュリティ対策特論 ◆	塩原孝弘	MM教室	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目		○		
		木	情報可視化特論 ◆	姫野龍太郎	MM教室	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目		○		
		金	分散大規模データ処理特論 ◆	中田秀基	MM教室	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目		○		
	6	火	医療DX・AI演習 ◆	山本 憲	MM教室	ヘルスデータサイエンス研究領域科目			○	○
		木	疫学特論 ◆	林 邦彦	302教室	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目		○		○
通年	1～2	土	健康データサイエンス特別研究2 ◇◆	指導教員	ラーニングcommons、他	研究指導科目	○	○	○	○
後期	5	水	高性能データ処理特論 ◆	佐藤三久	MM教室	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目		○		
		木	サイバーセキュリティ特論 ◆	齋藤 衛	MM教室	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目		○		
通年	1～2	土	健康データサイエンス特別研究2 ◇◆	指導教員	ラーニングcommons、他	研究指導科目	○	○	○	○

健康データサイエンス研究科健康データサイエンス専攻（博士後期課程） 時間割及び科目体系

◆主要授業科目、◇必修科目

■1年次

開講期	時限	曜日	授業科目名	授業担当	教室	科目区分	CP			
							CP1	CP2	CP3	CP4
前期	5	水	統計学特講	岩崎学、他	302教室、他	基盤科目	○			
		木	健康医療情報学特講	井出 博生	302教室、他	基盤科目	○			
		金	人工知能特講	中田秀基、他	302教室、他	基盤科目	○			
	6	月	データアナリティクス特講1 ◆	岩崎学、林 邦彦	302教室、他	専門科目		○		
		水	コンピュータサイエンス特講1 ◆	佐藤三久、中田秀基	MM教室、他	専門科目		○		
		金	ヘルスデータサイエンス特講1 ◆	青木茂樹、隈丸 加奈子	302教室、他	専門科目		○		
通年	1～2	土	健康データサイエンス特別研究1 ◇◆	指導教員	共同研究室、他	研究指導科目	○	○	○	○
後期	5	月	データアナリティクス特講2 ◆	岩崎学、林 邦彦	302教室、他	専門科目		○		
	6	月	コンピュータサイエンス特講2 ◆	水野信也、加藤雅彦	MM教室、他	専門科目		○		
		木	ヘルスデータサイエンス特講2 ◆	姫野龍太郎、小田 俊明	302教室、他	専門科目		○		
通年	1～2	土	健康データサイエンス特別研究1 ◇◆	指導教員	共同研究室、他	研究指導科目	○	○	○	○

■2年次

開講期	時限	曜日	授業科目名	授業担当	教室	科目区分	CP			
							CP1	CP2	CP3	CP4
前期	6	木	コンピュータサイエンス特別演習1 ◆	佐藤三久、中田秀基	MM教室、他	専門科目		○		
		金	ヘルスデータサイエンス特別演習1 ◆	青木茂樹、隈丸 加奈子	MM教室、他	専門科目		○		
	3	土	データアナリティクス特別演習1 ◆	岩崎学、林 邦彦	MM教室、他	専門科目		○		
通年	1～2	土	健康データサイエンス特別研究2 ◇◆	指導教員	共同研究室、他	研究指導科目	○	○	○	○
後期	5	火	データアナリティクス特別演習2 ◆	岩崎学、林 邦彦	MM教室、他	専門科目		○		
	6	月	コンピュータサイエンス特別演習2 ◆	水野信也、加藤雅彦	MM教室、他	専門科目		○		
		金	ヘルスデータサイエンス特別演習2 ◆	姫野龍太郎、小田 俊明	MM教室、他	専門科目		○		
通年	1～2	土		指導教員	共同研究室、他	研究指導科目				

■3年次

開講期	時限	曜日	授業科目名	授業担当	教室	科目区分	CP			
							CP1	CP2	CP3	CP4
通年	1～2	土	健康データサイエンス特別研究3 ◇◆	指導教員	共同研究室、他	研究指導科目	○	○	○	○

研究指導概要（博士前期課程）

健康データサイエンス研究科健康データサイエンス専攻（博士前期課程）

1年次

■4月

- ・所属研究室および指導教員（主・副）の決定
- ・（指導教員の判断により）副指導教員の追加の決定

■5月

研究テーマの決定・研究指導計画書の提出

■4月～翌1月

- ・講義受講
- ・研究指導科目「健康データサイエンス特別研究1」受講
- ・指導教員の指導のもと、本格的に研究課題に基づき調査・研究を進める

■12月

中間発表（研究科・専攻内）

■1月～3月

- ・学会口頭発表
- ・論文投稿準備

2年次

■4月

- ・修士論文執筆計画作成
- ・主査・副査の決定

■4月～翌1月

- ・講義受講
- ・研究指導科目「健康データサイエンス特別研究2」受講
- ・指導教員の指導のもと、修士論文執筆計画に即して、さらに詳細な研究課題の研究を引き続き進める

■10月～12月

- ・修士論文中間審査 ～ 修士論文の修正

■10月～翌1月

- ・学会口頭発表 ・論文投稿準備／論文投稿

■1月～3月

- ・修士論文提出
- ・研究科・専攻内での修士論文発表・審査会
- ・研究科・専攻内最終試験

研究指導概要（博士後期課程）

健康データサイエンス研究科健康データサイエンス専攻（博士後期課程）

1年次

■4月

- ・所属研究室および指導教員（主・副）の決定
- ・（指導教員の判断により）副指導教員の追加の決定

■5月

研究テーマの決定・研究指導計画書の提出

■4月～6月

学会発表、論文投稿計画の作成

■4月～翌1月

- ・講義受講
- ・研究指導科目「健康データサイエンス特別研究1」受講
- ・指導教員の指導のもと、本格的に研究課題に基づき調査・研究を進める

■12月

中間発表（研究科・専攻内）

■1月～3月

- ・学会口頭発表
- ・論文投稿準備

2年次

■4月～翌1月

- ・講義受講
- ・研究指導科目「健康データサイエンス特別研究2」受講
- ・指導教員の指導のもと調査・研究等

■年間

- ・学会口頭発表（国際学会含む）（※）
- ・論文投稿準備／論文投稿（※）

（※）3年次の博士論文審査までに、学術論文を査読付きのジャーナルまたは国際会議に投稿し、受理（アクセプト）されることを目指す

3年次

■4月

- ・博士論文執筆計画作成
- ・主査・副査の決定
- ・（指導教員の判断により）指導補助者の決定

■4月～5月

博士論文執筆準備

■4月～翌1月

- ・ 講義受講
- ・ 研究指導科目「健康データサイエンス特別研究3」受講
- ・ 指導教員の指導のもと、博士論文執筆計画に即して、さらに詳細な研究課題の研究を引き続き進める

■6月

博士論文執筆開始

■10月～12月

- ・ 博士論文予備審査
- ・ 博士論文本審査

■1月～3月

- ・ 博士論文審査（最終）
- ・ 博士論文審査（公聴会）
- ・ 研究科・専攻内最終試験

履修モデル（博士前期課程）

◎必修

△(※1) 指導教員の指導のもと選択履修（2科目4単位）

△(※2) 指導教員の指導のもと選択履修（2科目4単位）

○(※1) 指導教員の指導のもと選択履修（6科目11～12単位）

○(※2) 指導教員の指導のもと選択履修（6科目11～12単位）

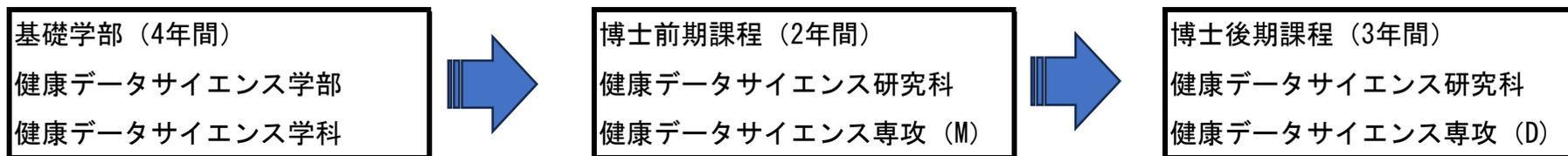
			データアナリティクス	コンピュータサイエンス	サイバーセキュリティ	ヘルスデータサイエンス	
科目区分	授業科目	単位数	31単位	30単位～31単位	31単位	30単位～31単位	
基盤科目	統計学基礎	2		△(※1)	△(※1)	◎	
	人工知能概論	2	△(※1)			◎	
	バイオメカニクス概論	2	△(※1)	△(※1)	△(※1)		
	データサイエンティストのための健康・医学概論	2	△(※1)	△(※1)	△(※1)		
	学術英語方法論	1	◎	◎	◎	◎	
	セキュリティガバナンス概論	1	◎	◎	◎	◎	
	研究倫理（技術倫理を含む）	1	◎	◎	◎	◎	
専門科目	専門基礎科目	統計学特論	2	△(※2)			
		生物統計学特論	2	△(※2)		△(※2)	
		人工知能特論	2		△(※2)	△(※2)	
		ネットワークセキュリティ特論	2	△(※2)	△(※2)	△(※2)	△(※2)
		医療DX・AI特論	2		△(※2)	△(※2)	△(※2)
		医療情報特論	2				△(※2)
	データアナリティクス・コンピュータサイエンス研究領域科目	ポピュレーションヘルスサイエンス	2	◎			○(※2)
		多変量統計解析特論	2	◎			○(※2)
		遺伝子と多様性のデータサイエンス特論	2	◎			○(※2)
		疫学特論	2	◎			○(※2)
		応用数理特論	2	◎	○(※1)	○(※1)	
		計算科学特論	2		○(※1)	○(※1)	
		情報可視化特論	2		○(※1)	○(※1)	
		分散大規模データ処理特論	2		○(※1)	○(※1)	
		高性能データ処理特論	2		○(※1)	○(※1)	
		IoTセキュリティ対策特論	2		○(※1)	○(※1)	
	サイバーセキュリティ特論	2		○(※1)	○(※1)		
	ヘルスデータサイエンス研究領域科目	データサイエンティストのための健康・医学特論	2	○(※1)	○(※1)	○(※1)	○(※2)
		バイオメカニクス特論	2		○(※1)		○(※2)
		臨床倫理データサイエンス特論	2	○(※1)			○(※2)
		臨床医療判断特論	2				○(※2)
		医療経済・医療政策データサイエンス特論	2				○(※2)
		画像解析・画像AI特論	2		○(※1)		○(※2)
医療DX・AI演習	1		○(※1)		○(※2)		
科指研 目導究	健康データサイエンス特別研究1	4	◎	◎	◎	◎	
	健康データサイエンス特別研究2	4	◎	◎	◎	◎	

履修モデル（博士後期課程）

◎必修
○指導教員の指導のもと選択必修

			データアナリティクス領域	コンピュータサイエンス領域	ヘルスデータサイエンス領域
科目区分	授業科目	単位数	20単位	20単位	20単位
科 基 盤	統計学特講	2	◎		
	人工知能特講	2		◎	
	健康医療情報学特講	2			◎
専 門 科 目	データアナリティクス特講1	2	○		
	データアナリティクス特講2	2	○		
	データアナリティクス特別演習1	1	○		
	データアナリティクス特別演習2	1	○		
	コンピュータサイエンス特講1	2		○	
	コンピュータサイエンス特講2	2		○	
	コンピュータサイエンス特別演習1	1		○	
	コンピュータサイエンス特別演習2	1		○	
	ヘルスデータサイエンス特講1	2			○
	ヘルスデータサイエンス特講2	2			○
	ヘルスデータサイエンス特別演習1	1			○
ヘルスデータサイエンス特別演習2	1			○	
導 研 科 究 目 指	健康データサイエンス特別研究1	4	◎	◎	◎
	健康データサイエンス特別研究2	4	◎	◎	◎
	健康データサイエンス特別研究3	4	◎	◎	◎

基礎学部と大学院研究科との関係図



■専門科目（教育研究の柱となる領域）

1. 数理統計科目群

（主な履修科目）
多変量データ解析
応用統計

関連

2. コンピュータ科目群

（主な履修科目）
プログラミング言語論
情報セキュリティ

関連

3. 健康医療データサイエンス科目群

（主な履修科目）
健康医療統計学
生体情報解析演習

関連

4. スポーツデータサイエンス科目群

（主な履修科目）
スポーツデータサイエンス
バイオメカニクスと運動計測

■専門科目（教育研究の柱となる領域）

1. データアナリティクス・
コンピュータサイエンス研究領域

（主な履修科目）
統計学特論
人工知能特論
ネットワークセキュリティ特論

■専門科目（教育研究の柱となる領域）

1. データアナリティクス領域

（主な履修科目）
統計学特講
データアナリティクス特講1

2. コンピュータサイエンス領域

（主な履修科目）
人工知能特講
コンピュータサイエンス特講1

2. ヘルスデータサイエンス研究領域

（主な履修科目）
バイオメカニクス特論
臨床倫理データサイエンス特論
画像解析・画像AI特論

3. ヘルスデータサイエンス領域

（主な履修科目）
ヘルスデータサイエンス特講1
健康医療情報学特講

アドミッションポリシーと入学者選抜方法の対応関係図

【資料11】

健康データサイエンス研究科健康データサイエンス専攻（博士前期課程(M)）（博士後期課程(D)）

入試区分	選抜方法		対象区分	AP 1 (M)	AP 2 (M)	AP 3 (M)	AP 4 (M)	AP 1 (D)	AP 2 (D)	AP 3 (D)
				出身学部・専攻は問わないが、医学・医療、工学や理学などの自然科学に関する基礎知識と基礎的な研究能力を有する人	健康データサイエンスの探究を通して、人々の健康に貢献することを求めている人	国際的な視野で知識を獲得し、意欲を持って研究課題に取り組むことのできる人	高い理想を実現するために新たな研究に挑戦する意欲を持っている人	出身研究科・専攻は問わないが、データサイエンスに関する専門的知識と研究を遂行できる学力を有している人	自ら主体的に問題を発見し、課題を解決する能力を持っている人	研究を進めるにあたり必要とされる外国語の能力を持っている人
一般選抜	1. 書類審査	(1) 研究計画書（本学指導教員の承認済）	M、D	○	○		○	○	○	
		(2) 本学指導教員の推薦状	M、D	○	○		○	○	○	
		(3) 成績証明書	M、D	○		○		○		
		(4) 修士論文又はそれに相当する学術論文	D					○	○	
		(5) 研究業績一覧表及びその概要	D					○	○	
	2. 学力試験	(1) 専門 （研究計画の専門に応じ、統計学とコンピュータ科学のどちらか1科目選択）	M、D	○				○	○	
		(2) 英語	M、D			○				○
3. 口述試験		M、D	○	○		○	○	○		
社会人選抜	1. 書類審査	(1) 推薦状（所属企業等）	M、D		○		○	○	○	
		(2) 研究計画書（本学指導教員の承認済）	M、D	○	○		○	○	○	
		(3) 本学指導教員の推薦状	M、D	○	○		○	○	○	
		(4) 成績証明書	M、D	○		○		○		
		(5) 修士論文又はそれに相当する学術論文	D					○	○	
		(6) 研究業績一覧表及びその概要	D					○	○	
	2. 学力試験	(1) 専門 （研究計画の専門に応じ、統計学とコンピュータ科学のどちらか1科目選択）	M、D	○				○	○	
		(2) 英語	M、D			○				○
3. 口述試験		M、D	○	○		○	○	○		

入試区分	選抜方法		対象区分	AP 1 (M)	AP 2 (M)	AP 3 (M)	AP 4 (M)	AP 1 (D)	AP 2 (D)	AP 3 (D)
				出身学部・専攻は問わないが、医学・医療、工学や理学などの自然科学に関する基礎知識と基礎的な研究能力を有する人	健康データサイエンスの探究を通して、人々の健康に貢献することを求めている人	国際的な視野で知識を獲得し、意欲を持って研究課題に取り組むことのできる人	高い理想を実現するために新たな研究に挑戦する意欲を持っている人	出身研究科・専攻は問わないが、データサイエンスに関する専門的知識と研究を遂行できる学力を有している人	自ら主体的に問題を発見し、課題を解決する能力を持っている人	研究を進めるにあたり必要とされる外国語の能力を持っている人
外国人留学生選抜	1. 書類審査	(1) 研究計画書（本学指導教員の承認済）	M、D	○	○		○	○	○	
		(2) 本学指導教員の推薦状	M、D	○	○		○	○	○	
		(3) 成績証明書	M、D	○		○		○		
		(4) 日本語能力試験成績証明書	M、D	○		○		○		○
		(5) 修士論文又はそれに相当する学術論文	D					○	○	
		(6) 研究業績一覧表及びその概要	D					○	○	
	2. 学力試験	(1) 専門 （研究計画の専門に応じ、統計学とコンピュータ科学のどちらか1科目選択）	M、D	○				○	○	
		(2) 英語	M、D			○				○
	3. 口述試験	M、D	○	○		○	○	○		
学内推薦選抜	1. 書類審査	(1) 研究計画書（本学指導教員の承認済）	M、D	○	○		○	○	○	
		(2) 本学指導教員の推薦状	M、D	○	○		○	○	○	
		(3) 成績証明書 (GPA3.0以上)	M、D	○		○		○		
		(4) 修士論文又はそれに相当する学術論文	D					○	○	
		(5) 研究業績一覧表及びその概要	D					○	○	
	2. 口述試験	M、D	○	○		○	○	○		

学校法人 順天堂 就業規則 (抄)

第6章 雇入、休職、解雇及び退職

第32条 定年は満65歳とし、定年に達した日の年度末(3月31日)をもって退職とする。

2 理事会において必要と認められた者については一定期間退職を延長することがある。

第33条 職員は自己の都合によって退職しようとするときは、少なくとも1カ月前までに所属長を経て大学に退職願を提出しなければならない。

2 退職を願い出た者はその許可のあるまでは従前の業務を継続しなければならない。

第34条 次の各号の一に該当するときは、職員はその身分を失う。

- (1) 死亡したとき。
- (2) 退職を願い出て承認されたとき。
- (3) 定年に達し退職したとき。
- (4) 休職期間満了後も復職を命ぜられないとき。
- (5) 解雇されたとき、又は雇傭期間の満了したとき。
- (6) 業務上の傷病により打切補償を受けたとき。

第35条 18歳未満の職員が解雇の日から15日以内に帰郷する場合には必要な旅費を支給する。

第36条 職員が退職又は解雇されたときは、在職中の功績若しくは勤惰に応じて別に定める退職金を支給する。ただし、懲戒処分による場合は原則としてこれを支給しない。

第36条の2 職員は退職又は解雇に際し、身分証明書、ネームプレート、被服、被保険者証、その他貸与物を大学に返還しなければならない。

順天堂大学特任教員に関する規程

[平成 18 年 3 月 1 日 規第平 17-22 号]

(目的)

第 1 条 この規程は順天堂大学（以下「本学」という。）における特任教員に関して必要な事項を定める。

2 特任教員の職名は、その業績及び職務内容に応じ次に掲げるものとする。

- (1) 特任教授
- (2) 特任先任准教授
- (3) 特任准教授
- (4) 特任講師
- (5) 特任助教
- (6) 特任助手

（以下、2号から6号を合わせて「その他の特任教員」という。）

(職務)

第 2 条 特任教員は、あらかじめ定めた教育、研究、臨床又は特に委嘱された業務に従事するものとする。

(資格)

第 3 条 特任教授は、本学を定年により退職した教授又は本学の教授と同等程度の資格があると認められた者のうち、本学の内外における業務遂行上必要があるときに、経歴及び研究・教育業績を勘案し、任用する。

2 その他の特任教員は、それぞれ本学の同職位の専任教員と同等程度の資格があると認められた者のうち、本学の内外における業務遂行上必要があるときに、経歴及び研究・教育業績を勘案し、任用する。

(任用)

第 4 条 特任教授の任用にあたっては、学長はあらかじめ大学協議会又は大学院委員会に諮り、理事会の承認を得るものとする。

2 その他の特任教員は、各学部又は大学院研究科（以下「学部等」という。）が定める教員選考基準に基づき選考を行い、教授会又は研究科委員会（以下「教授会等」という。）の意見を聴き、学長の承認を得て理事長が任命するものとする。

3 前項の他、その他の特任教員が、本学が設置する学部等以外の組織を本務とする場合は、学長が指名する者による選考委員会の審議を経た後、学長の承認を得て理事長が任命するものとする。

(教授会等への出席)

第 5 条 特任教員は、教授会等の要請があるときに限り、教授会等に出席するものとする。但し、学部所属する特任教授は、原則として教授会に出席するものとする。

(任用期間)

第 6 条 特任教員の任用期間は、任用の日から当該年度末日迄とする。但し、1年の任用期間で更新を継続することができる。

(報酬)

第 7 条 特任教員の報酬については別に定める。

2 次に該当する場合には退職金を支給しない。

- (1) 満 65 歳を超えて任用する場合

- (2) 有期の特定プロジェクト（共同研究講座・寄付講座等を含む）に新たに任用する場合
- (3) 学校法人順天堂年俸制適用職員給与規程等に基づき、退職金を支給しない条件により任用する場合

（服務）

第8条 特任教員の服務条件はこの規程に定めるほか、学校法人順天堂契約職員就業規則による。

（事務）

第9条 特任教員に関する事務事項は、特任教員が本務又は併任する各キャンパス事務室（事務部）が人事部と協力して行う。

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は、大学協議会及び大学院委員会の議に基づき、理事会の承認を得て学長が行う。

附 則

この規程は、平成18年3月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年2月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

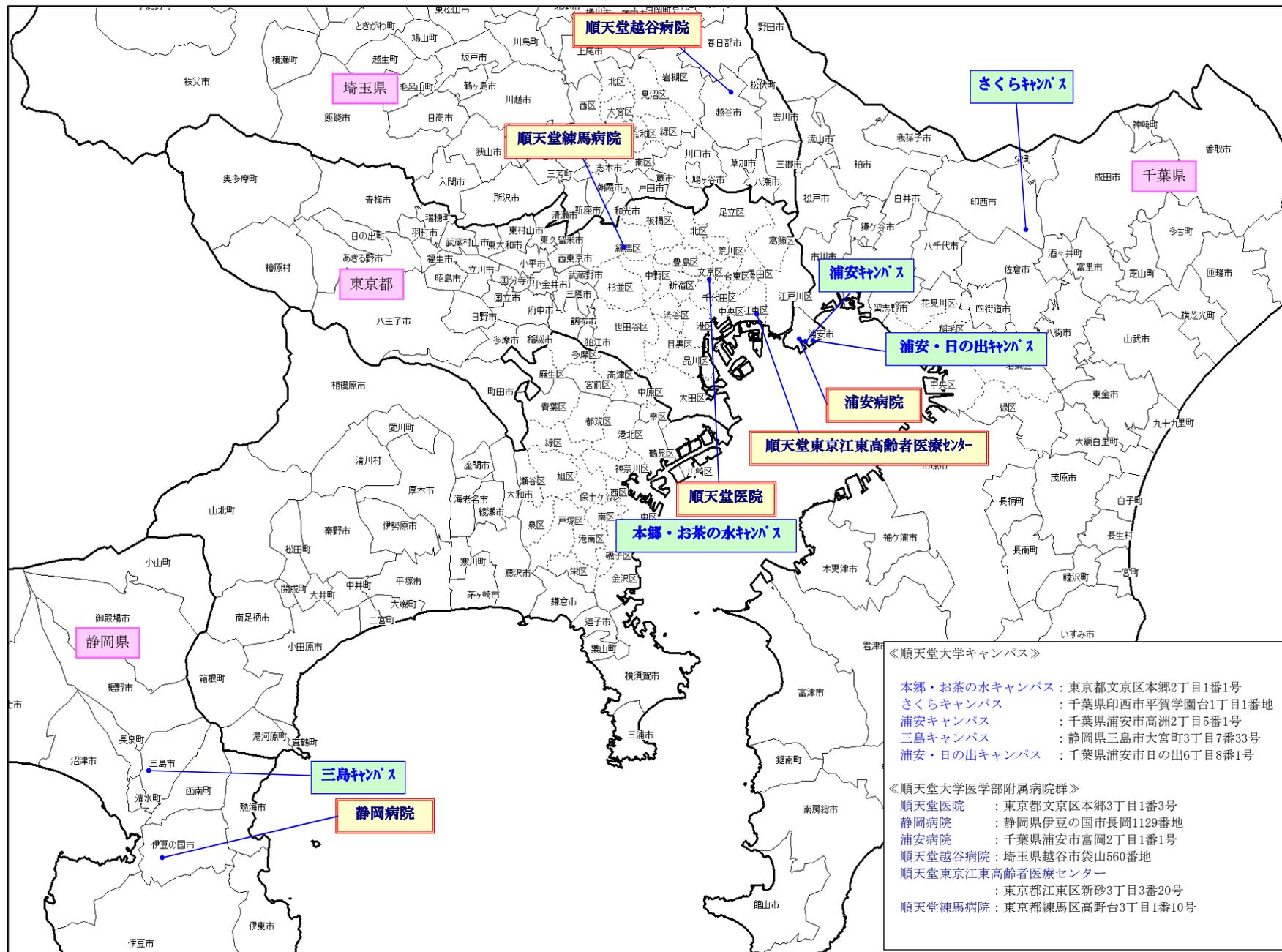
附 則

この規程は、平成26年12月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年7月1日から施行する。

○ 順天堂大学 キャンパス及び医学部附属病院配置図（都道府県内における位置関係の図面）



- ＜順天堂大学キャンパス＞
- 本郷・お茶の水キャンパス：東京都文京区本郷2丁目1番1号
 - さくらキャンパス：千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地
 - 浦安キャンパス：千葉県浦安市高洲2丁目5番1号
 - 三島キャンパス：静岡県三島市大宮町3丁目7番33号
 - 浦安・日の出キャンパス：千葉県浦安市日の出6丁目8番1号
- ＜順天堂大学医学部附属病院群＞
- 順天堂医院：東京都文京区本郷3丁目1番3号
 - 静岡病院：静岡県伊豆の国市長岡1129番地
 - 浦安病院：千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
 - 順天堂越谷病院：埼玉県越谷市袋山560番地
 - 順天堂東京江東高齢者医療センター：東京都江東区新砂3丁目3番20号
 - 順天堂練馬病院：東京都練馬区高野台3丁目1番10号



順天堂大学

所在地 東京都文京区本郷 2丁目1番1号
 電話 03-3813-3111(大代表)
 URL <http://www.juntendo.ac.jp>

＜最寄駅からのアクセス＞

- JR線「御茶ノ水」駅下車(御茶ノ水口) 徒歩7分
- 東京メトロ(丸ノ内線)「御茶ノ水」駅下車 徒歩7分
- 東京メトロ(千代田線)「新御茶ノ水」駅下車(B1出口) 徒歩9分
- JR線「水道橋」駅下車(東口) 徒歩8分
- 都営地下鉄(三田線)「水道橋」駅下車(A1出口) 徒歩8分

【資料15】

○順天堂大学大学協議会規則

昭和29年9月1日

規第29—9号

改正 昭和38年7月1日

昭和43年6月19日

昭和51年4月1日

昭和63年5月1日

平成6年4月1日

平成16年4月1日

平成19年10月1日

平成22年4月1日

平成25年9月1日

平成26年3月1日

平成26年7月23日

平成26年11月1日

平成27年4月1日

平成27年7月1日

平成28年4月1日

平成30年10月1日

令和元年5月1日

令和2年10月1日

(設置)

第1条 順天堂大学に、大学協議会を置く。

(協議会の趣旨)

第2条 大学協議会は、教育・研究に関して全学に共通する事項を審議する。

(組織)

第3条 大学協議会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長・学長特別補佐（副学長・学長特別補佐を置く場合）
- (3) 大学院各研究科長
- (4) 各学部長
- (5) 大学院各研究科委員会から選出された教授1人

- (6) 各学部教務委員長
- (7) 国際交流センター長又は代理する者
- (8) 総務局長
- (9) 各キャンパス事務（部）長
- (10) 研究戦略推進センター研究企画・管理室長
- (11) 前各号に掲げる者のほか、学長が必要と認める職員若干名

2 前項(5)及び(11)号の委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(審議事項)

第4条 大学協議会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 全学の教育・研究に関する事項
- (2) 学則その他教育・研究に係る重要な規則の制定及び改廃に関する事項
- (3) 教育課程の編成に係る全学的な方針に関する事項
- (4) 教職課程に関する事項
- (5) 順天堂大学名誉教授称号授与に関する事項
- (6) ファカルティ・ディベロップメントに関する事項
- (7) 国際化の推進に関する事項
- (8) 大学に直接設置する寄付講座及び共同研究講座開設に関する事項
- (9) その他大学の教育・研究に関する重要事項

(議長)

第5条 大学協議会は、学長が招集してその議長となる。

2 議長に事故あるときは、議長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(会議の招集)

第6条 大学協議会は、学長が必要を認めたとき、又は教授会・研究科委員会から議題の提出があったときに随時開催する。

2 学長が急を要すると認めた議題については、会議の開催に代えて持回り又は書面で審議することができる。

(決議)

第7条 大学協議会において議長が議決を必要と認めたときは、出席委員の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第8条 大学協議会に関する事務は大学評価支援室が所管する。

(規則の改廃)

第9条 この規則の改廃は、大学協議会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附 則

- 1 この規則は、昭和29年9月1日から施行する。
- 2 この規則の改正は、協議員3分の2以上の賛同を得て行うことができる。

附 則

この規則は、昭和38年7月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和43年6月19日から施行する。

附 則

この規則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和63年5月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 この規則の第3条第2号で各学部長とは、医学部長、体育学部長及びスポーツ健康科学部長をいう。ただし、体育学部及びスポーツ健康科学部にあっては、スポーツ健康科学部長が代表する。
- 3 この規則の第3条第5号で各学部教授会とは、医学部教授会、体育学部教授会及びスポーツ健康科学部教授会をいう。ただし、体育学部教授会及びスポーツ健康科学部教授会を一体とみなす。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 この規則の第3条第2号で各学部長とは、医学部長、スポーツ健康科学部長及び医療看護学部長をいう。
- 3 この規則の第3条第5号で各学部教授会とは、医学部教授会、スポーツ健康科学部教授会及び医療看護学部教授会をいう。

附 則

この規則は、平成19年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規則の第3条(2)で各学部長とは、医学部長、スポーツ健康科学部長、医療看護学部長及び保健看護学部長をいう。
- 3 この規則の第3条(4)で各キャンパス学生部長とは、さくらキャンパス学生部長、浦安キャンパス学生部長及び三島キャンパス学生部長をいう。
- 4 この規則の第3条(6)で各学部教授会とは、医学部教授会、スポーツ健康科学部教授会、医療看護学部教授会及び保健看護学部教授会をいう。

附 則

この規則は、平成25年9月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年3月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年7月23日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年11月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この規則の第3条(2)で各学部長とは、医学部長、スポーツ健康科学部長、医療看護学部長、保健看護学部長及び国際教養学部長をいう。
- 3 この規則の第3条(7)で各学部教授会とは、医学部教授会、スポーツ健康科学部教授会、医療看護学部教授会、保健看護学部教授会及び国際教養学部教授会をいう。

附 則

- 1 この規則は、平成27年7月1日から施行する。
- 2 この規則の第3条(2)で大学院各研究科長とは、順天堂大学大学院学則第3条で規定する研究科の研究科長をいう。
- 3 この規則の第3条(3)で各学部長とは、順天堂大学学則第2条で規定する学部の学部長をいう。
- 4 この規則の第3条(9)で各学部教授会とは、順天堂大学学則第37条で規定する教授会をいう。

附 則

この規則は、平成30年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年5月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年12月1日から施行する。

大学院健康データサイエンス研究科管理運営体制図

